

医療的ケア 喀痰吸引研修を受けて

「たんの吸引(口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部)」と「経管栄養(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)」を行える介護職員等を養成するための研修です。

喀痰吸引等研修は医療行為を行う対象者(不特定多数の方と特定の方)で研修が異なりますが、私は、施設内の特定の方が対象の研修を受けました。研修を受けた事で、痰が絡んでいた時、看護師が近くにいなくても迅速に吸引する事ができるようになりました。また、経鼻経管栄養の注入では、注入する物の説明や香り、色などを話しながら時間の共有ができ、メンバーの生活の手助けができるようになりました。

メンバーに対してできる事が増えた事で、不快感や苦しさの時間が軽減し、安心して過ごせるようになっていないかと思えます。

支援員 村木 智幸

防災訓練

下関消防署、山口防災株式会社の方に来ていただき、避難訓練、消火訓練、火災報知器の使い方、避難袋の使い方などの訓練をしました。

万が一に備えて訓練をする事で、いざという時に少しでも冷静に対応できるのではないかと思います。そのためにも、参加者一人一人の訓練に対する意識が大切だと改めて感じました。



介護研修

メンバーが生活していくうえで移乗介助は欠かせない介助の一つです。メンバーも職員も安全な介助ができるよう、定期的に日ごろの介助方法を振り返り、改善するための研修をしています。

併せて、日本基準寝具株式会社ECOLさんより介護用品の紹介をしていただきました。メンバーが安心して生活できるよう、心のこもった介助と適切な介護用品の活用必要性を感じました。



寄付者一覧

令和2年2月末現在(順不同 敬称略)

やまぐち小児科/六人会/梅崎淳/理事/中野貴博
田中和子/花笑み/金原洋治/梅光学院
梅光学院幼稚園保護者会/国際ソロプチミスト海峡下関
さをり織りサークル/じねんじょ窯/れんげ畑
大畑一郎/かねはら小児科

ありがとうございました

編集後記

皆様からのご協力をいただき、第33号の広報誌を無事に発行することができました。

ご協力・ご支援頂いた皆様に深く感謝いたします。令和始めて第2弾の広報誌です。前号から、じねんじょメンバーの活動様子やセンターとしての取り組みを掲載しています。日頃の活動の様子をご覧ください。

重症心身障害者地域生活支援センター



発行者: 社会福祉法人じねんじょ
発行日: 令和2年4月1日
TEL: 083-252-2227
FAX: 083-252-2259
E-mail: jinenjo@jinenjo.or.jp
http://www.jinenjo.or.jp

大地

(じねんじょ通信)

VOL. 33
2020/04

令和3年春、新しい施設を開設します!

今年はオリンピック・パラリンピック東京大会などでワクワクする年になるはずでしたが、新型コロナウイルスの流行により不安感漂う春になりました。早く流行が終息することを願っています。

2004年の4月に開設したじねんじょは、16年目の春を迎えました。16年の間に社会の状況は大きく変化しました。障害者支援の分野では、新生児医療や在宅医療の進歩による胃瘻や経管栄養、在宅酸素・吸引・気管切開などを受けながら在宅で暮らす人が増えています。福祉分野の法律やサービスの改訂や創設、福祉事業所が増加、雇用の状況なども大きく変化しており、じねんじょが地域の中で求められる役割も変化していると感じます。

じねんじょ開設時は、知的障害者通所更生施設、重症心身障害児(者)通園A型事業、心身障害児(者)デイケア事業デイケアハウス(県単独事業)を運営する社会福祉法人でしたが、その後の法律や制度の変更、支援ニーズの変化などにより、現在は、生活介護、児童発達支援(重症児型)、居宅訪問型児童発達支援、放課後等デイサービス(重症児型)、ヘルパーステーション、相談支援事業などを運営する法人になっています。

令和3年度の春の開設を目ざして新しい施設の準備を進めています。この新施設は、総合支援学校高等部卒業後の子ども達の受け皿を増やすことを目ざした生活介護を主体とした施設です。この数年間、いくつかの場所が候補に上がりました。近年の人材確保の状況を勘案し、できるだけ近くの場所が運営しやすいという結論に達し、昨年、道路を隔てた旧西京銀行跡地を購入し準備を進めているところです。

自己資金だけでは建設することは困難であり、今後の法人の安定した運営のためには、借入れをできるだけ少なくする必要があります。そのため、寄付金をお願いしたり、銀行からの借入れも必要になります。

皆様にもご協力ご支援をお願いすることになるとは思いますが、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人じねんじょ 理事長 金原 洋治

令和元年10月20日(日)に「じねんじょフェスティバル2019」を開催しました。

「手をつなごう地域と共に～令和に奏でるハーモニー～」をテーマに、じねんじょ15周年記念企画として、抽選会や音楽コンサートをを行い、参加された皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。

その他、カップインゲーム、パステル、折り紙などの催し、福祉施設の食品販売、手づくり雑貨販売等、たくさんの方のお力添えをいただき、大盛況のうちにフェスティバルを終えることができました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

